

(参考2)

エイズ広報を行う際の留意事項（不適切な表現等）

患者・感染者を傷つけたり、差別、偏見を助長するような表現は避ける

◇エイズ撲滅、エイズ抑圧、エイズ根絶

→ 患者・感染者が傷つく表現なので避ける。「HIV 感染症／エイズのまん延の防止」「患者・感染者に対する差別と偏見の解消」などの表現が望ましい。

◇エイズをたたきのめす、やっつける

→ 患者・感染者を排除しようとするイメージを与える表現なので避ける。

◇エイズ汚染、エイズ禍、ウイルスをまき散らす

→ 患者・感染者が社会を汚しているというイメージを与える表現なので避ける。

◇理性ある行動をとるべき、節度ある行動をとるべき

→ 患者・感染者はだらしない人というイメージを与える表現なので避ける。

◇ハイリスクの人、エイズ多発国、エイズ先進国

→ 危険なのは、「人」ではなくハイリスクな「行動」。また、HIV 感染の流行について「多発国」「先進国」という表現は不適切なので避ける。

◇（感染すると／発病すれば）必ず（100%）死ぬ

→ 近年、治療の進歩により、HIV 感染症が早期に診断されれば、服薬を続けることでエイズ発症を抑えることが可能である。また、エイズを発症したとしても、適切な治療を受けることで「必ず（100%）死ぬ」とは限らず、適切な表現ではないため避ける。

◇エイズの恐怖・魔の手、忍び寄るエイズ

→ いたずらに恐怖心をあおる表現は避ける。

◇ホモ（ホモセクシュアル）

→ 蔑称として使われることが多い。「MSM*」「男性同性愛者」「ゲイ」などの表現が望ましい。

*MSM（Men who have sex with men）：男性で同性間性的接触を行う者（バイセクシュアルも含まれる。）

◇レズ

→ ホモとセットで蔑称として使われている。「レズビアン」「女性同性愛者」などの表現が望ましい。

◇多数との無防備なセックス

→ 相手が多数でなければ大丈夫という誤解を与えるため避ける。

◇コンドームを使うのは男の役割

→ 女性用コンドームの使用もありうること、また、同性間での性的接触もあることなどから、適切な表現ではないため避ける。